

# 適格退職年金移行は 中退共で解決しませんか？

中小企業退職金共済（中退共）制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です。

## 移行期限はあと4年にせまっています！

適格退職年金制度は、平成24年3月31日までに他の年金制度等に移行するなどの対応が必要となります。移行先となる制度は4つありますが、中小企業向けの選択肢の一つとして中退共制度をご紹介します。

### 中退共移行のメリット

中退共制度に移行すると  
こんなメリットがありますよ！！



- ★適格退職年金契約における従業員持分額の全額を引渡金額とすることができます！
- ★移行時に事務手数料は一切いただきません！
- ★移行時に積立不足解消の必要はありません！

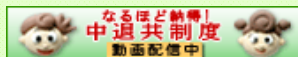


だから、約13,000社の適年解約事業所が  
中退共に移行しているんです！！

### さらに、中退共は移行後にもメリットがあります

- ★国からの掛金増額助成が受けられます。
- ★従業員ごとの納付状況等を事業主にお知らせ致しますので、退職金の管理が簡単です。
- ★掛金は全額非課税、また事務手数料・管理費等は一切不要です。

制度について詳しくはホームページで！



動画にて「適年移行検討企業用制度説明」を配信しています。

中退共

中退共(ちゅうたいきょう)で検索



独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
中小企業退職金共済事業本部  
ちゅうたいきょう  
略称：中退共

### 福岡退職金相談コーナー

〒812-0054 福岡市東区馬出1-13-10  
(福岡県不動産会館2階)  
TEL 092-631-2551 FAX 092-651-6282

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp>

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6 退職金機構ビル  
TEL:03-3436-0151(代表) FAX:03-3436-0400

# 適格退職年金制度から中小企業退職金共済制度への 移行関係書類の送付依頼書

資料請求依頼先

契約業務部 契約課 FAX **03-3433-0495**

資料請求は「FAX」又は「郵送」のどちらでも結構です。

該当番号に○印を付けてください。

- 1 移行を検討** したいので、詳しい資料の送付を希望します。（「中退共制度のあらまし」「引継のしおり」等を送ります。）
- 2 移行を希望** するので、引渡申出書等の送付を希望します。（1.の資料と「加入申込書」「引渡申出書」等を送ります。）

依頼日 平成 年 月 日	
郵便番号	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
名称 又は 氏名	<input type="text"/>

担当部署・担当者名

電話番号

FAX番号

次の項目についてご記入下さい。（移行を希望される場合のみ記入）

1	主たる事業内容	
2	常時雇用する従業員数	人
3	資本金又は出資金の総額	万円
4	中退共制度への加入の有無 「有」の場合は共済契約者番号(7桁)	有・無 (○をつけてください) —
5	建退共制度への加入の有無	有・無 (○をつけてください)
6	適格退職年金契約の相手方(記入は任意) (共同契約の場合は幹事会社名又は幹事銀行名)	
7	適年からの移行予定年月	平成 年 月

- (注) 1 申込日前日までの退職者は、中退共へ移行できません。  
2 引渡金額早見表は、引渡申出月によって異なります。

※ ご記入いただきました個人情報は中退共本部の加入促進活動に必要な範囲で利用させていただきます。中退共本部では個人情報を適切な安全対策のもとに管理し、漏えいなどの防止に努めます。また、お客様の同意なく第三者に開示・提供はいたしません。

「中退共制度」「適年制度からの移行」についてもっと詳しく知りたい方へ

機構・中退共ではホームページを開設しておりますのでご覧ください。

- 1 アドレス<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp> からホームページを開く。
- 2 「中退共制度とは」をクリックすると「制度の概要」「制度の特色」「加入の条件」等がご覧いただけます。
- 3 「適年からの引継」をクリックすると「適年引継の概要」「引継関係書類」「引渡金額早見表」「移行シミュレーション」等がご覧いただけます。  
※「移行シミュレーション」ではWeb上で試算できます。また試算プログラムをダウンロードしてご利用のパソコンで試算できます。
- 4 「ダウンロード」をクリックすると「中退共制度のあらまし」等がご覧いただけます。